

<Vol,page No.>

43, 457-458

<section>

Indoor and Occupational Pollutants

<English title>

LESSONS FROM A STRANGE CASE OF DIOXIN CONTAMINATION

<Japanese title>

ダイオキシン汚染の未知なケースからの教訓

<Authors>

N.Hiel, B.Jaeger, N.Winker, K.Schrei, F.Wurst, G.Neundlinger

<keywords>

Vienna , the Austrian Workers Compensation Board (AUVA),

<Japanese keywords>

ウィーン, オーストラリア労働者補償委員会

<Captions>

<Summary>

1998 年の 1 年間に、オーストラリアではメディアや社会一般において職場の安全性に関するいくつかの事件が広く注目された。これらのうちの一つは、ダイオキシンによる未知な汚染が原因であることが明らかになった。AUVA は、その原因究明のため多数のサンプルの測定を行い、調査時の大気の TE 値がドイツで定められている許容値の 50pg/m3 以下であることを確認した。また、職場での病気である確証を得るためには、異性体のパターンの解析結果が十分な証拠となることが決定的となった。

<Translator>

藤原 英隆

<end>